

一般財団法人 Ruby アソシエーション
2013 年度 第 1 回通常理事会 議事録

日時：2013 年 6 月 11 日(火) 14:00 ～ 15:45

場所：(株)ネットワーク応用通信研究所 東京支社 (東京都千代田区外神田 5-6-12 コーワビル 3 2F)

松江オープンソースラボ (島根県松江市朝日町 478-18 松江テルサ別館 2F)

九州工業大学 田中和明研究室(福岡県飯塚市川津 680-4)

理事総数：6 名

出席理事：6 名 (東京、松江及び福岡をテレビ会議で結び開催)

(東京)笹田耕一、橋本明彦

(松江)松本行弘 (理事長)、井上浩(副理事長)、澤田盛繁

(福岡)田中和明

出席監事：(松江)今岡正一

事務局：(松江) 前田修吾 (事務局長)、横田早百合 (事務員)、杉原健司 (支援スタッフ)、

福田一斎 (支援スタッフ)

定款第 39 条の規定により出席理事から井上浩副理事長を議長 として選出し、井上副理事長が議長席につき、当財団の理事現在数 6 名中、定款第 40 条第 1 項及び第 2 項の規定に従い、議長を含め議決に加わることのできる理事全員の出席により定足数を満たしたので本理事会は有効に成立した旨を宣し、テレビ会議システムにより出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認のうえ議事に入った。

冒頭、松本理事長より今期の円滑な財団事業の実施に向け本日の議事進行、協議に期待する旨の挨拶があった。

第 1 号議案：「2012 年度 事業報告書案」

定款第 7 条第 1 項 に基づき (第 2 号議案以降も同様)、議長の指名により前田事務局長が別添資料 P1 によって議案の説明を行った。

採決の結果、原案どおり可決した。

第 2 号議案：「2012 年度 決算案」

議長の指名により横田事務局長が別添資料 P9 によって議案の説明を行った。また、説明後、今岡監事が監査の結果、適正に会計処理がなされていることを報告した。

以下、質疑応答。

田中理事：事業規模が拡大する一方で租税公課が 2011 年度に比べ、2012 年度は減額になっているが、この理由は。

横田事務局長：租税公課は印紙購入費である。2011 年度は財団の設立に伴い印紙の購入費が相当額となった。

橋本理事：経費で事業費と管理費に区分されているが、この違いは。

横田事務局長：事業費に区分しているものは、事業収入に関わる経費である。なお、人件費等の両区分の関わる者は、それぞれ 50%ずつで按分している。

以上の質疑後の採決の結果、原案どおり可決した。これにより本決算案をもって理事会決定とし評議員会に上程することとなった。

第 3 号議案：「理事辞任・選任案」について

議長の指名により前田事務局長が別添資料 P16 によって議案の説明を行った。

採決の結果、原案どおり可決した。これにより本案も理事会決定とし評議員会に上程することとなった。

第4号議案：「2013年度予算 6月補正」について

議長の名指により杉原支援スタッフが別添資料 P17 によって議案の説明を行った。

以下、質疑応答。

田中理事：技術者認定試験の会計処理に関して、CBT 試験受託者の会計処理との齟齬はないか。

杉原支援スタッフ：試験受託者の会計処理まで確認はしていない。

今岡監事：いずれにせよ当財団の今回の補正が会計処理上適切であるので問題はない。

以上の質疑後の採決の結果、原案どおり可決した。

協議事項1：「標準規格」について

前田事務局長が Ruby の言語仕様の標準規格の今後の維持、改訂に関する現在の状況、当面の進め方、また、外部人材の活用に関して報告した。

協議事項2：「海外展開」について

杉原支援スタッフが今後の海外の関係機関との連携を踏まえ、例えば Ruby Central に「Ruby 安定版保守事業」の下期費用相当額への支援を依頼してはどうか、また、その場合の依頼方法に関して出席理事に意見を聞いた。

笹田理事より依頼は松本理事長からするのが適当であり、その際には海外送金時の流れ、米国での税法上の扱い等に関して Ruby Central に提示できるとよいつの助言があった。

送金時の流れ等に関しては、事務局で確認することとなった。

協議事項3：「起業支援型地域雇用創造事業」について

福田支援スタッフが現在の応募状況について、現時点で有力な応募がなく、6月25日までに採用の目途がなければ、本事業に関しては実施を見送ることになると報告した。

澤田理事より、本事業の要件に松江市在住者が対象者であることから、ふるさと島根定住財団を活用することの提案があり、事務局で対応することとなった。

協議事項4：「2013年度 開発支援事業」について

前田事務局長が昨年度までの実施状況を報告し、今年度はテーマを提示し募集する方法の実施について出席理事に意見を聞いた。

笹田理事よりテーマの決定方法、実施スケジュールなどについて意見、質問があった。前田事務局長からテーマについては具体的なテーマ設定をしなくても対象分野を提示するなど含めて開発支援事業の助成委員に相談し、スケジュールに関しては夏ごろの募集で秋ごろからの実施、年度末を完了時期にする見込みと説明。

出席理事の了解が得られたので、今後、前田事務局長が助成委員と相談し進めることとなった。

協議事項5：「Ruby Prize」について

福田支援スタッフが別添資料 P19 によって説明し、出席理事に意見を聞いた。

出席理事と事務局の間で、主に顕彰の対象者に関する意見交換があった。今年度は、別添資料に沿って実施し、その結果を踏まえ次年度以降に見直しを行うこととなった。なお、松本理事長、井上副理

事長、笹田理事、前田事務局長は実行委員に、他の理事3名を Prize 会員に予定しており、就任について異議はなかった。

協議事項6：「RubyWorld Conference プログラム検討委員会」について

前田事務局長が別添資料 P22 によって説明し、笹田理事、田中理事、橋本理事に委員会への参加を依頼した。いずれの理事も了承された。

以上この議事録が正確であることを証するため、定款第43条の規定により、代表理事理事長（松本行弘）と出席監事（今岡正一）は、次に記名押印する。

2013年6月11日

上記の通り相違ありません。

一般財団法人Rubyアソシエーション

代表理事理事長 松本 行弘



監事 今岡 正一



一般財団法人 Ruby アソシエーション 理事会

日時：2013年6月11日（火）14:00～16:00

場所：(株)ネットワーク応用通信研究所 東京支社

松江オープンソース・ラボ

九州工業大学

1 理事長あいさつ

2 議 題

1) 2012年度 事業報告書案について

2) 2012年度 決算案について

3) 理事辞任・選任について

4) 2013年度予算 6月補正について

2 協議事項

1) 標準規格について

2) 海外展開について

3) 国事業「起業支援型地域雇用創造事業」の活用について

4) 2013年度 開発支援事業について

5) Ruby Prize について

6) RubyWorld Conference プログラム検討委員会

3 その他

2012 年度（第 2 事業年度）

「事業報告書」 (案)

2012 年 4 月 1 日から

2013 年 3 月 31 日まで

一般財団法人 Ruby アソシエーション

「2012 年度事業報告」 目次

1	事業の概要	2
2	体制及びその変更	2
	1) 評議員	
	2) 理事	
	3) 監事、顧問及び事務局	
	4) 評議員選定委員会	
3	実施事業	3
	1) 公募型開発プロジェクト	
	2) Ruby 安定版保守事業	
	3) Ruby に関する情報発信事業	
	(1) Web での情報発信	
	(2) RubyWorld Conference の開催	
	(3) セミナー活動	
	(4) その他、イベントの開催	
	4) Ruby 技術者認定試験事業	
	5) 事業者認定事業	
	6) 協賛会員事業	
	7) 寄付事業	

1 事業の概要

プログラミング言語 Ruby は、2012 年 4 月にその言語仕様が国際規格に承認（ISO/IEC 30170）され、軽量 Ruby の開発成果が公表されるなど、Ruby への信頼性の高まりと利用範囲の更なる拡大に向けて節目となる年でした。また、今年 2 月にはその開発から 20 年を迎えるとともに、5 年ぶりのメジャーバージョンとして Ruby2.0 がリリースされ、Ruby は新たな時代へと突入しました。

2012 年度は、こうした背景を元にした Ruby のビジネス利用の拡がりとともに、一般財団法人 Ruby アソシエーション（以下、「当財団」と言う。）への期待も高まった一年でした。当財団は、その目的である Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の 2012 年度の実施事業について報告します。



2 体制及びその変更

1) 評議員

2012 年度当初、以下の 13 名（五十音順）が評議員でした。

- ・及川 喜之 (株)セールスフォース・ドットコム CTO
- ・大場 寧子 (株)万葉 代表取締役社長
- ・後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所 取締役
- ・最首 英裕 (株)グローヴノーツ 代表取締役社長
- ・柴田 直樹 (株)まちづくり三鷹 常務取締役
- ・正村 勉 (株)日立ソリューションズ
技術開発本部 本部長 兼 Ruby センタ センタ長
- ・立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
サービス本部 プラットフォームサービス部長
- ・中島 宏 (株)DTS IT インテグレーション事業本部 IT プラットフォーム部 部長

- ・羽田 昭裕 日本ユニシス(株) 総合技術研究所 所長
- ・平松 知江子 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
生産革新技術センター長代理 兼 OSS ビジネス推進部長
- ・森 正弥 (株)楽天 執行役員 兼 楽天技術研究所 所長
- ・吉岡 宏 (株)テクノプロジェクト 代表取締役社長
- ・吉田 正敏 富士通(株) プラットフォーム技術本部 チーフストラテジスト

2013年3月の柴田氏の辞任に伴い、評議員選定委員会の承認を得た以下の者が新たに評議員に就任しました。

- ・出田 健二 (株)まちづくり三鷹 経営事業部企画事業グループマネージャ

2) 理事

2012年度当初、以下の3名が理事でしたが、9月開催の評議員会で理事体制が変更となりました。

(当初)

- ・代表理事 松本 行弘
- ・副理事長 前田 修吾
- ・理事 井上 浩

(変更後)

- ・代表理事 松本 行弘
- ・副理事長 井上 浩
- ・理事 澤田 盛繁
- 橋本 明彦
- 田中 和明
- 笹田 耕一

3) 監事、顧問及び事務局

- ・監事 今岡 正一 (公認会計士)
- ・顧問 松浦 正敬 松江市長、溝口 善兵衛 島根県知事
- ・事務局 9月より前田修吾(前副理事長)が事務局長として、事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ1名の他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。また、今期から利用事例作成編集の担当スタッフとして外部ライターと契約をしました。

4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和 (評議員)
- ・委員 今岡 正一 (監事)、横田 早百合 (事務局員)、
田代 秀一 (外部委員)、高橋 征義 (外部委員)

3 実施事業

1) 公募型開発プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト(既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む)を公募し、グラント委員会で選考の結果、以下2件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2013 年 3 月 31 日までに開発を終え、現在はその成果を公開しています。

- ・ 公募期間：2012 年 7 月 17 日 ～ 8 月 20 日
- ・ 応募件数：8 件（日本国内 1 件、国外 7 件）
- ・ 採択件数：2 件

①採択者：Ruby Science Foundation	プロジェクト：SciRuby and NMatrix
<p>NMatrix は Ruby のための行列ライブラリであり、SciRuby プロジェクトの一部です。NMatrix と SciRuby に統計的、数值的、視覚化ライブラリを提供することによって、科学コミュニティに Ruby が広まることが期待されます。</p>	
②採択者：Sam Rawlins氏	プロジェクト：Creosote・A Mathematics Package for Ruby
<p>Creosote プロジェクトは Ruby エコシステムで利用可能ないくつかの強力な数学ライブラリを開発します。現在は、数学的 GMP、MPFR、Msieve ライブラリの Ruby バインディング(C拡張)をメンテナンスしています。今日、これらのライブラリは別個の gem で提供されており、お互いのライブラリの存在を認識しにくくなっています。これらのライブラリを含めて、より多くの数学ライブラリを含む Creosote プロジェクトを成長されることを目的としています。</p>	

2) Ruby 安定版保守事業

ユーザが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することと、委託先の選定に際し公募を行った結果、株式会社 TOUA に決定いたしました。委託期間は 2012 年 10 月 1 日から 2013 年 3 月 31 日です。

3) Ruby に関する情報発信事業

(1) Web での情報発信

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業に利用事例作成編集の担当スタッフが当該企業担当者に直接面談し、概要情報と詳細情報の作成を行いました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザ(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2012 年度は新たに 9 件の利用事例を紹介しました。

2012年度 新規掲載企業	テーマ
東京ガス、株式会社ティージー情報ネットワーク	リアルタイム地震情報配信サービス「jishin.net」を Ruby で構築
リパティ・フィッシュ株式会社	タブレット端末を活用した介護施設向けシステムを Ruby により商品化
国立大学法人島根大学	Ruby、Ruby on Rails で新たな講義を開講
クックパッド株式会社	日本の食卓を支える料理レシピサービスを Ruby で開発

株式会社まちづくり三鷹、株式会社コミュニティ・クリエイション	自治体向け業務パッケージを Ruby で開発
イズミヤ株式会社、株式会社万葉	クラブカード会員向けモバイルサービスを Ruby で開発
日本ユニシス株式会社	Ruby で加速する新しいクラウドサービスの開発
シーイーシークロスメディア株式会社	メディアコンテンツ作成サービスを支える Ruby on Rails
島根県庁	Ruby による産業構造の転換

(2) RubyWorld Conferenceの開催

2012年11月8日(木)、9日(金)、島根県立産業交流会館「くにびきメッセ」(島根県松江市)にて、4回目となる「RubyWorld Conference 2012」を開催しました。主催は、RubyWorld Conference 開催実行委員会(構成機関:当財団、島根県、松江市、島根大学、松江高専、ジェトロ松江、しまね産業振興財団、島根県情報産業協会、しまねOSS協議会、経済産業省中国経済産業局)、共催は情報処理推進機構(IPA)、その他、多くの機関の後援、協賛をいただき実施しました。

今回の国際会議では、Rubyに関するビジネス利用事例や、最新技術の情報、言語仕様の標準化の動向などを紹介する様々なセッションを通じて、Rubyがより多くの領域に普及していくことを目指し、国内外16名が講演し、来場者数は2日間で延べ949名(詳しくは下記を参照)を数えました。

基調講演では、実行委員長でもある松本理事長が「How to change the world」と題し講演。また、2日目の基調講演では、英語圏において最初にRubyを取り上げた書籍「プログラミング Ruby」の著者としても知られている Dave Thomas氏が「The Limits of Language」と題して、プログラミングの目的であるコミュニケーションについてRubyとどの様に関係しているのかご講演いただきました。

2013年は、おなじく島根県松江市で11月21日(木)、22日(金)に開催を予定しています。

●来場者について

2日間延べ949名(11月8日 577名、11月9日 372名)

来場実数 674名(県内 406名、県外 259名、海外9名)

- ・IT企業関係者 304名(県内118名、県外186名、海外6名)
- ・その他企業関係者 89名(県内56名、県外33名)
- ・行政関係者 59名(県内47名、県外12名)
- ・研究教育機関関係者 173名(県内166名、県外7名)
- ・一般(所属なし) 27名(県内13名、県外14名)
- ・講演者 16名(県内6名、県外7名、海外3名)

●講演者について

- ・国内13名(企業関係者9名、教育研究機関2名、行政機関2名)
- ・海外 3名(アメリカ2名、ドイツ1名 うち企業関係者2名)

(3) セミナー活動

当財団の単独主催、又は関係機関との共催、協力を得てビジネスセミナーを4回開催致しました。これらのセミナーでは、Rubyの利用状況と今後のビジネストrendをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、開催地の状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。ま

た、セミナー後の質疑応答やセミナー後の意見交換の場など、Web 上だけではない「リアルなビジネス交流」の機会を提供しました。

各セミナーでは参加者にアンケートを実施し、情報発信事業に対する評価と当財団への要望も意見集約し、今後の事業内容の検討にも活用しています。

開催時期、会場	開催テーマ	来場者数(名)	備考
2012年 6月、東京	国際規格承認	約150名	IPA 共催
2012年10月、東京	クラウド×Ruby	約80名	IIJ 開催協力
2012年12月、東京	現場で必要とされるテクノロジー	約50名	単独開催
2013年 1月、大阪	エンタープライズRuby	約140名	Rubyビジネス協議会開催協力
2013年 3月、松江	Mruby	約60名	松江市、島根県共催

(4) その他、イベントの開催

開発から20周年を迎えた2013年2月23日、当財団と一般社団法人 日本 Ruby の会が共催し、Ruby20周年記念パーティを開催しました。

当日は、Ruby に縁の深い方々からの御祝辞や、Ruby のこれまでを振り返るインタビューコーナーなどを行い、松本理事長や開発コミッタの方々を囲み、日頃から Ruby を利用するユーザ、ビジネスや研究に活用する方々など約300名が参加しました。

4) Ruby技術者認定試験事業

2012年度も、Rubyベースのシステムを設計、開発、運用するエンジニア、Rubyでシステム提案を行うコンサルタント、Rubyを教える講師などを対象とした認定試験制度を実施しました。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。2013年3月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	15	55
認定教育機関プログラム	2	—
認定サポート事業者プログラム	2	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	2	1

6) 協賛会員事業

2012年度から、さらなる事業活動の充実を図るため、Rubyの普及・発展のための事業に賛同し、支援いただける協賛会員を募集しました。

- ・会員資格

法人、任意団体及び個人

- ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円（4月を開始月とします）

①Platinum Sponsor 5口以上（50万円以上）

②Gold Sponsor 2口以上（20万円以上）

③Silver Sponsor 1口以上（10万円以上）

2013年3月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum : 年間5口以上	Gold : 年間2口以上	Silver : 年間1口以上
9	17	30

7) 寄付事業

当財団の事業に賛同頂いた個人より寄付を頂きました。

寄付者芳名
及川和彦 様
中村浩士 様
中村成洋 様
中村宇作 様
澤田盛繁 様

他、芳名掲載の希望なし1名

決 算 報 告 書

(第 2 期)

自 2012年 4月 1日
至 2013年 3月 31日

一般財団法人Rubyアソシエーション

貸借対照表

2013年 3月31日現在

(2012年度 第2期)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,228,774	6,181,270	6,047,504
未収金	1,734,734	13,336,800	△ 11,602,066
流動資産合計	13,963,508	19,518,070	△ 5,554,562
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	16,963,508	22,518,070	△ 5,554,562
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,127,337	14,485,414	△ 13,358,077
前受金	2,300,000	2,000,000	300,000
預り金	42,091	35,937	6,154
流動負債合計	3,469,428	16,521,351	△ 13,051,923
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,469,428	16,521,351	△ 13,051,923
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	10,494,080	2,996,719	7,497,361
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	13,494,080	5,996,719	7,497,361
負債及び正味財産合計	16,963,508	22,518,070	△ 5,554,562

正味財産増減計算書

2012年 4月 1日から2013年 3月31日まで

(2012年度 第2期)

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	172	258	-86
事業収益	15,292,527	913,500	14,379,027
受取補助金	0	13,236,000	-13,236,000
受取寄付金	10,957,144	7,401,919	3,555,225
受取利息	1,579	381	1,198
雑収益	0	100,800	-100,800
経常収益計	26,251,422	21,652,858	4,598,564
(2) 経常費用			
事業費			
給与手当	1,625,455	982,836	642,619
法定福利費	242,190	67,562	174,628
会議費	0	48,970	-48,970
旅費交通費	110,040	149,680	-39,640
通信費	41,058	36,373	4,685
消耗品費	735,945	253,800	482,145
水道光熱費	3,000	881	2,119
支払手数料	3,814,645	3,202	3,811,443
賃借料	563,361	21,542	541,819
租税公課	19,000	200	18,800
支払負担金	500,000	0	500,000
支払助成金	1,442,466	1,006,722	435,744
委託費	4,651,443	14,268,706	-9,617,263
管理費			
役員報酬	1,200,000	800,000	400,000
給与手当	1,625,454	308,772	1,316,682
法定福利費	242,190	67,561	174,629
広告宣伝費	0	45,000	-45,000
会議費	5,670	36,968	-31,298
旅費交通費	1,252,810	23,100	1,229,710
通信費	37,448	33,892	3,556
消耗品費	200,673	108,770	91,903
水道光熱費	2,999	881	2,118
諸会費	2,572	2,572	0
支払手数料	137,356	228,058	-90,702
賃借料	86,166	21,541	64,625
租税公課	53,120	123,550	-70,430
委託費	159,000	15,000	144,000
経常費用計	18,754,061	18,656,139	97,922
当期経常増減額	7,497,361	2,996,719	4,500,642

2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,497,361	2,996,719	4,500,642
一般正味財産期首残高	2,996,719	0	2,996,719
一般正味財産期末残高	10,494,080	2,996,719	7,497,361
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	13,494,080	5,996,719	7,497,361

財 産 目 録

2013年 3月31日現在

(2012年度 第2期)

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	199,710
預金	普通預金 山陰合同銀行松江駅前支店	運転資金として	12,029,064
未収金		補助金収入の未収分他	1,734,734
流動資産合計			13,963,508
(固定資産)			
基本財産 普通預金	定期預金 山陰合同銀行松江駅前支店	運用益を事業の財源として	3,000,000
固定資産合計			3,000,000
資産合計			16,963,508
(流動負債)			
未払金		委託費の未払分	352,616
		助成金の未払分	309,343
		その他事業費及び管理費の未払分	465,378
前受金		協賛金の前受分	2,300,000
預り金		源泉所得税の預り分	42,091
流動負債合計			3,469,428
(固定負債)			0
固定負債合計			0
負債合計			3,469,428
正味財産			13,494,080

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっております。

2. 基本財産及び特定資産の増減及びその残高

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
普通預金	3,000,000	0	3,000,000	0
定期預金	0	3,000,000	0	3,000,000
小計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000
特定資産				
	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
小計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)
特定資産				
	0	(0)	(0)	(0)
小計	0	(0)	(0)	(0)
合計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	(0)

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、財務諸表に対する注記2.「基本財産及び特定資産の増減及びその残高」に記載しているため、その記載を省略している。

監査報告書

一般財団法人 Ruby アソシエーション
理事長 松本行弘 殿

平成 25 年 6 月 7 日

一般財団法人 Ruby アソシエーション
監事 今岡正一



私は、平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

1) 事業報告等の監査結果

- (1) 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

理事の辞任・選任について

●理事体制

改選後の理事	現在の理事
松本 行弘 (代表理事理事長) : 再任	松本 行弘 (代表理事理事長) : 任期満了
井上 浩 (副理事長) : 再任	井上 浩 (副理事長) : 任期満了
笹田 耕一 : 再任	笹田 耕一 : 辞任
田中 和明 : 再任	澤田 盛繁 : 辞任
橋本 明彦 : 再任	田中 和明 : 辞任
山根 泉 : 新任	橋本 明彦 : 辞任

※今回の理事改選により再任又は新たに就任される理事の任期は、

2015年6月に開催を予定する定時評議委員会までとなる(この場合、再任は妨げられません)。

(参考) 新理事について

氏名	推薦理由
山根 泉	元島根県商工労働部長として、一般財団法人 Ruby アソシエーションの目的、必要性を理解されており、また、現職(理事就任時には前職)である「公益財団法人 しまね産業振興財団 副理事長」として、財団の法益法人化を指揮し、また、公益法人の組織運営・管理の手腕を高く評価されるなど、今後の当財団の組織運営における指導力を期待できるため。

第4号議案

2013年度 一般財団法人Rubyアソシエーション 補正予算 2013.6.11 単位:千円

	2013年度 原予算①	2013年度 補正予算②	②-①
1 売上高			
1) Ruby技術者認定試験	8,172	15,600	7,428
2) 事業者認定事業	2,250	2,250	0
3) その他事業収入	2,860	8,114	5,254
小計	13,282	25,964	12,682
2 特別利益(協賛金、寄附金)			
1) 協賛会員	13,000	13,300	300
2) 寄附金	210	210	0
3) その他	0	0	0
小計	13,210	13,510	300
3 雑収入			
1) 預金利息 等	2	2	0
4 売上原価			
1) Ruby技術者認定試験	175	6,309	6,134
2) 事業者認定事業	540	540	0
3) その他	0	0	0
小計	715	6,849	6,134
5 その他、事業費用			
1) 公募型開発プロジェクト	1,500	1,500	0
2) Ruby安定版の保守業務委託	3,400	3,400	0
3) Web活用(情報発信事業)	725	725	0
4) RubyWorld Conference開催	2,300	2,300	0
5) ビジネスセミナー開催 等	2,660	2,660	0
6) 標準化維持	1,000	1,000	0
小計	11,585	11,585	0
6 役員報酬			
監事報酬	1,200	1,200	0
小計	1,200	1,200	0
7 販売費及び一般管理費			
1) 職員人件費	7,000	7,000	0
2) 賃借料(事務所+駐車場)	760	760	0
3) 旅費交通費(出張費)	1,500	1,875	375
4) 通信運搬費(電話代、郵便代)	50	50	0
5) 消耗品費(事務用品他)	300	300	0
6) 会議費	20	20	0
7) 使用料	0	0	0
8) 租税公課(固定資産税、印紙代)	100	100	0
9) 手数料	150	150	0
10) 委託費	800	800	0
11) 報償費	0	0	0
※諸会費	0	0	0
※雑費	1,000	1,000	0
小計	11,680	12,055	375
8 総収入	26,494	39,476	12,982
9 総支出	24,180	31,689	7,509
10 税引前当期純利益	2,314	7,787	5,473
11 法人税、住民税及び事業税	0	0	0
12 当期純利益	2,314	7,787	5,473
13 利益剰余金	10,932	18,281	7,349
※協賛会員数			
Platinum Sponsor (50万円)	10	12	2
Gold Sponsor (20万円)	21	17	-4
Silver Sponsor (10万円)	38	39	1

2013年度予算 6月補正ポイント (捕捉資料)

1 収入に関すること

- 1) 技術者認定試験に関して、原案では「プロメトリック配信料等を控除した」当財団への入金見込額のみを売上見込計上していたが、今岡監事の指摘を踏まえ、
 - ・試験事業の売上(受験者からの収入) = 売上見込
 - ・プロメトリック社の配信料等控除額、認定証の作成、発送等 = 売上原価見込と修正した。
なお、これに伴い、認定試験の収入見込額は、1,000人受験で15,600千円。
- 2) その他事業収入に関して、松江市から受託した国事業「起業支援型地域雇用創造事業」で受託収入見込額(5,254千円)を増額計上。

2 支出に関すること

- 1) 技術者認定試験に関しては、上記「1 1)」のとおり。
売上原価見込は、配信手数料、認定証印刷・発送委託費、バウチャ費、テストデータ修正費で6,309千円を計上。
このうち、配信手数料、バウチャ費、テストデータ修正費分の6,134千円を増額。
- 2) 旅費交通費に関して、松江市・国事業の受託に伴い新規雇用者に関する旅費交通費を上乗せし、375千円(東京往復・1泊を5回分)を増額。
※予算全体では、@75千円(東京往復・1泊)×25回=1,875千円を計上。

Ruby Prize 2013

About「Ruby Prize」～Ruby Prize とは～

「Ruby Prize」は、一般財団法人Rubyアソシエーション、一般社団法人日本Rubyの会、そして「Ruby City MATSUE Project」を推進する松江市役所で構成する実行委員会が運営する表彰制度。
プログラミング言語Rubyの普及・発展に最も寄与した人物・活動・プロジェクト等を選定し、顕彰することで、Rubyの一層の利用促進と裾野拡大を図ることを目的とする。

Prospectus of Ruby Prize 2013 ～Ruby Prize 2013 趣意書～

【2013の基本的な方針】

- ・推薦対象は、「個人」とする
 - ・直近の2～3年に顕著な活動実績や功績を有する者とする
 - ・実際にプログラムを開発している者を対象とする
- ※「開発支援事業」は「テーマ型」へ移行する。

Recommendation & Ceremony ～推薦から表彰式までの流れ～

1. 国内外のRubyコミッタ、Rubyアソシエーションと日本Rubyの会の関係者などを中心に、実行委員会から「Prize会員」への就任及びPrizeノミネート候補の推薦を依頼する。
2. 「Prize会員」の推薦とあわせて、メールによる一般推薦（自薦・他薦可）を受付。
3. 「Prize会員」の推薦と一般推薦を集計し、上位15名を公表（※順位は公表しない）。
4. 集計結果をもとに、実行委員会がノミネート対象（2～4名程度）を選考し、その中からRuby Prize受賞者1名を決定。
5. ノミネート対象は、Webサイトで公表（※このうちのRuby Prize受賞者1名は表彰式場で発表。本人には事前通知）。
6. ノミネート対象を、2013年11月21日・22日に島根県松江市で開催される「RubyWorld Conference 2013」の会場で表彰する。あわせて、Ruby Prize受賞者による、同カンファレンスでのご講演を予定。



Executive Committee ~ Ruby Prize 実行委員会 ~

実行委員長 まつもとゆきひろ (Rubyアソシエーション理事長)
委員 井上 浩 (Rubyアソシエーション副理事長)、笹田 耕一 (Rubyアソシエーション理事)
前田 修吾 (Rubyアソシエーション事務局長)、高橋 征義 (日本Rubyの会代表理事)
角谷信太郎 (日本Rubyの会理事)
事務局 松江市

Prize会員の選出について

Prize会員候補 (敬称略)

- ・ 3名 RA理事: 橋本明彦、田中和明、山根泉
- ・ 13名 RA評議員: 出田健二、及川喜之、大場寧子、後藤裕蔵、最首英裕、正村勉、立久井正和、中島宏、羽田昭裕、平松知江子、森正弥、吉岡宏、吉田正敏
- ・ 3名 日本Rubyの会理事・監事: 安積伸弥、島田浩二、卜部昌平
- ・ ?名 Rubyコミッタ (ML等で協力依頼)
- ・ 17名 RWC海外講演者: Tim Bray, Bruce Tate, Jeremy Kemper, Charles Nutter, Thomas Enebo, Evan Phoenix, Stevie Clifton, Daniel Bovensiepen, Tom Zeng, Chad Fowler, Yehuda Katz, Derek Collison, Aaron Patterson, Dave Thomas

- ・ 13名 公募にする前の2009年・2010年のRWC国内講演者
竹内郁雄、久野靖、吉川正晃、原元司、野田哲夫、河本崇幸、頃末和義、橋本健太、相澤歩、松田明、園田裕貴 (Yugui)、原嘉彦、牧俊男

Prize会員規約

- ・ Prize会員は、実行委員会が選任する。
- ・ 会員は「個人」のみとする。
- ・ 「recommend Sheet」の送付により、会員への就任承諾と推薦をあわせて依頼する。
- ・ 送付はメールで行い、メールで返信してもらうものとする。
- ・ メール返信がなかった場合は、会員就任の承諾自体が得られなかったものとする。
- ・ 本人の承諾を得た会員の氏名はWebで公開する。
- ・ 翌年度以降実施する場合も同様とする。
- ・ 会員自身または会員自身が関わったプロジェクトの推薦 (自薦) も可とする。
- ・ 会員が、「だれ」又は「なに」に投票をしたのかは、公表しない。
- ・ 会員は無報酬とする。

集計ルール

- ・ Prize会員の推薦を集計し、上位10名を選出。
 - ・ 一般会員の推薦を集計し、上位5名を選出。Prize会員の推薦対象と重複する場合は、6位以下を上位5名に達するまで選出する。
 - ・ 上記15名の中から、実行委員会がノミネート対象及びRuby Prize受賞者1名を決定する。
- ◆ Prize会員
- ・ 「recommend Sheet」へ記入し、事務局へメール返送する。
 - ・ Prize会員1名あたり1名を推薦できる。
- ◆ 一般
- ・ DoorKeeperにサイトを留意する。

1 RubyWorld Conference 2012 プログラム検討委員 名簿

組 織	役 職	氏 名
一般財団法人 Ruby アソシエーション	理事長	まつもと ゆきひろ
	副理事長	井上 浩
	事務局長	前田 修吾
国立大学法人 島根大学	総合情報処理センター長 (現 Ruby センター長)	野田哲夫
独立行政法人 国立高等専門学校機構 松江工業高等専門学校	教 授	原 元司
一般社団法人 島根県情報産業協会	会 長	吉岡 宏
独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA)	参 与 (技術本部国際標準推進センター長)	田代 秀一
一般社団法人 日本 Ruby の会	代表理事	高橋 征義
	理 事	角谷 信太郎
楽天株式会社	執行役員 楽天技術研究所所長	森 正弥
株式会社ネットワーク応用通信研究所		喜多川 豪
		後藤 裕蔵

2 プログラムの選出方法

以下テーマで公募を行い、応募された案件について各プログラム検討委員が発表枠数分の発表者を選んでメールで報告。発表枠数を限度に得票数の多い順に発表者として選出。

■募集テーマ：

- (1) Ruby に関連する最新技術動向の紹介
- (2) システム開発事例の紹介
- (3) ユーザ視点での Ruby 導入事例の紹介
- (4) 公的機関での Ruby に関連する取り組みの紹介
- (5) Ruby に関する教育・研究の紹介

■申込方法

- (1) 応募書類：発表者概要 A4版で1枚、発表概要 A4版で3枚以内（書式の指定なし）
- (2) 応募、発表言語：日本語 又は 英語

3 今年度のスケジュール

- ・発表者募集開始：2013年6月10日（月）
- ・発表申込締切：2013年7月26日（金）
- ・発表者の決定：2013年8月9日（金）頃